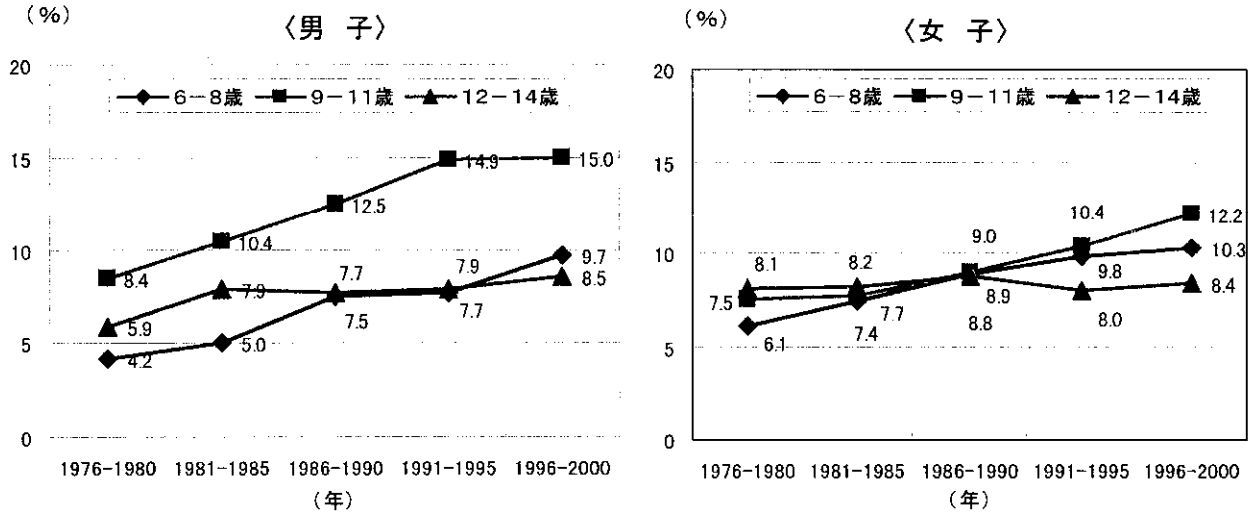


子どもの食をめぐる現状について

〈子どもの変化〉

○小児期における肥満の増加



(「日比式による標準体重20%以上」を肥満とした)
資料：厚生労働省「国民栄養調査」

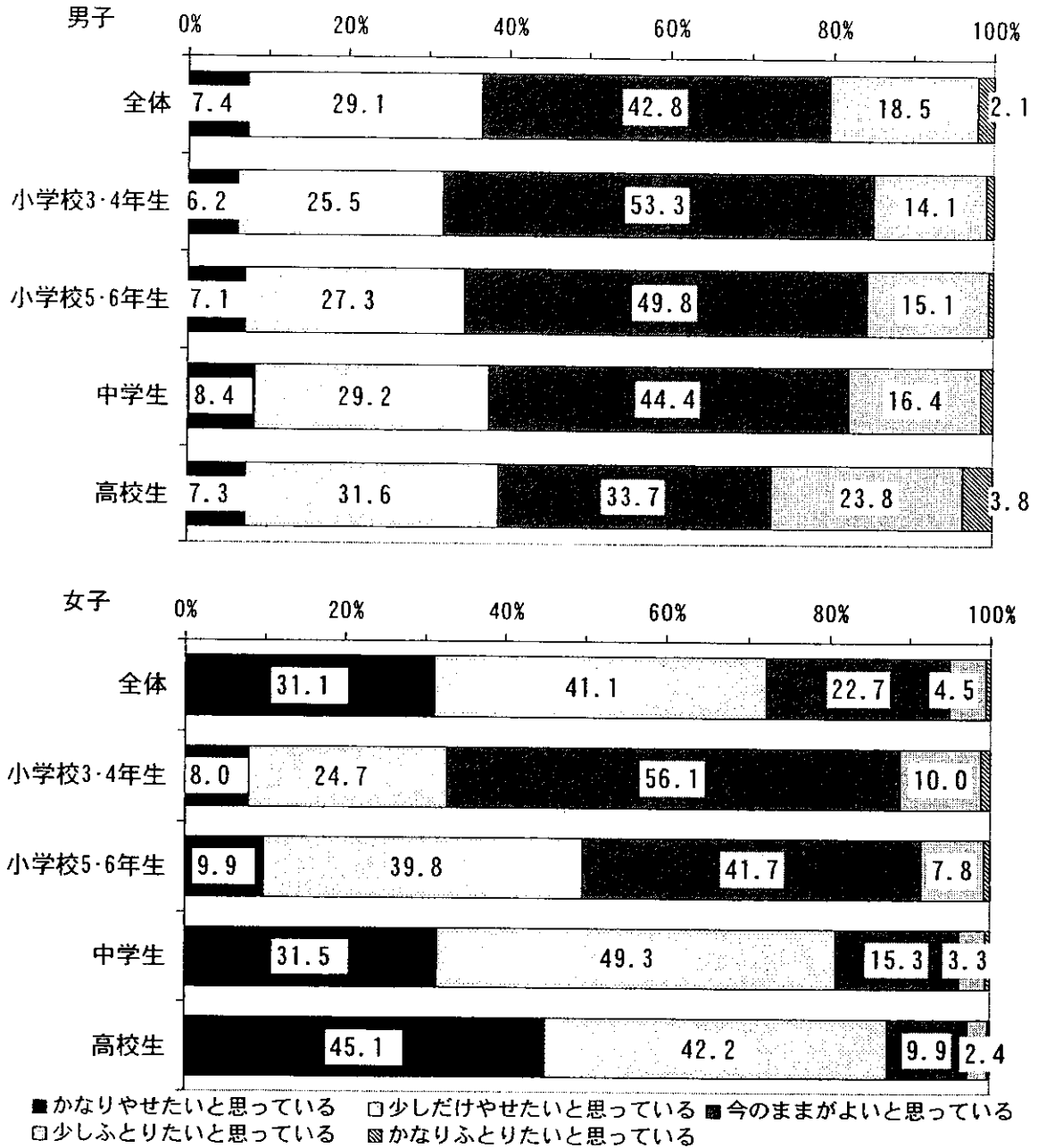
○思春期やせの発現

(「健やか親子21」各課題の取組目標より一部抜粋)

1 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進		
指 標	現状(ベースライン)*	2010年の目標
1-4 15歳の女性の思春期やせ症(神経性食欲不振症)の発生頻度	<p>不健康やせ</p> <p>中学3年 5.5%</p> <p>高校3年 13.4%</p> <p>注)「不健康やせ」とはなんらかの健康影響をもたらす可能性のあるやせ</p> <p>思春期やせ症</p> <p>中学1年～高校3年 2.3%</p> <p>注)上記「思春期やせ症」には思春期やせ症の疑いのある生徒を含む</p>	減少傾向へ

* 資料：平成14年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究)「思春期やせ症の実態把握及び対象」(主任研究者：渡辺久子)

○自分の体型について



注) 2%を下回る数値は割愛した。資料編を参照。

資料：(財)日本学校保健会「平成12年度児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書」

○朝食の状況

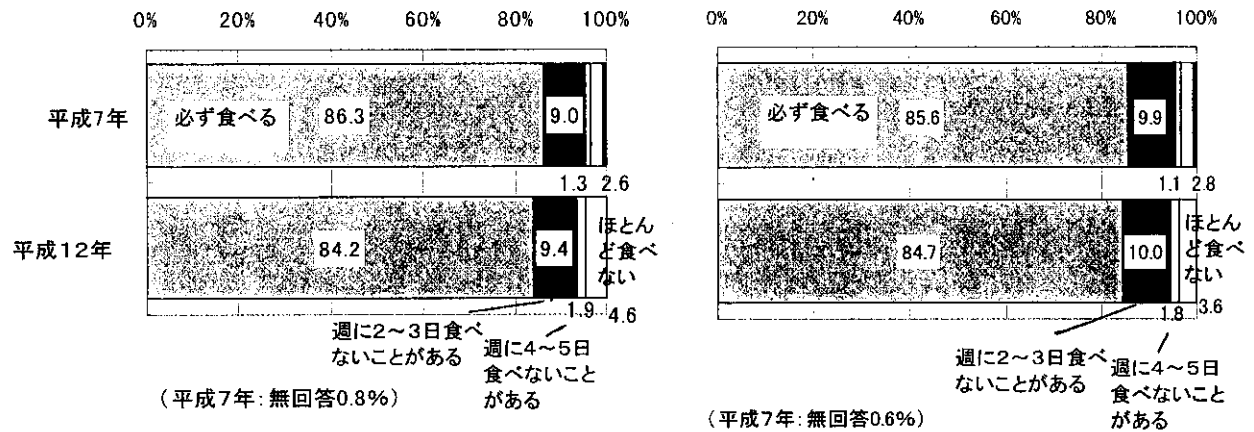
〈幼児〉

(%)

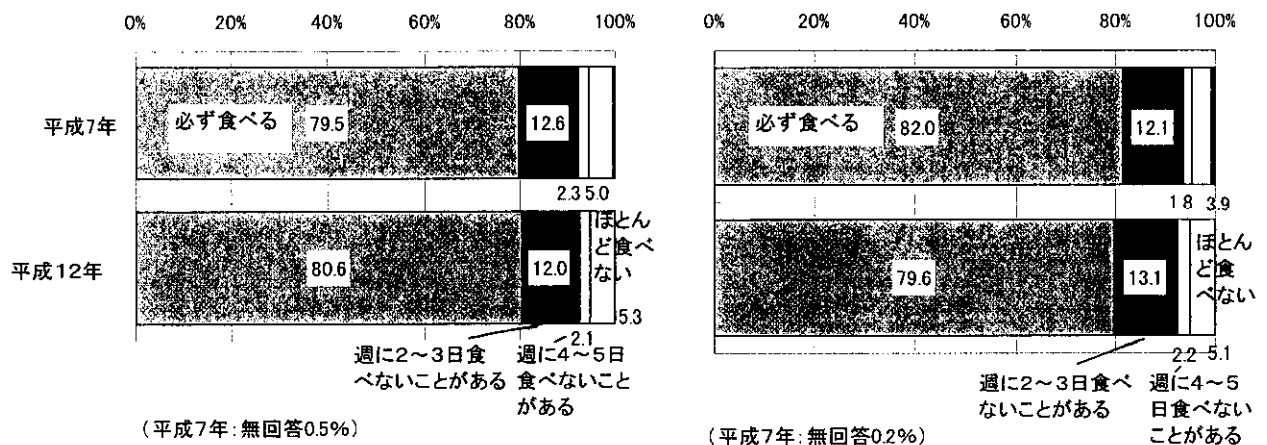
	1歳	2歳	3歳	4歳	5-6歳
毎日食べる	89.3	85.0	83.6	87.8	89.6
週に1~2回ぬく	6.3	10.5	10.3	7.2	6.9
週に3~4回ぬく	0.4	1.0	1.5	0.6	0.7
週に1~2回しか食べない	1.6	2.0	2.0	2.2	1.6
その他	2.3	1.3	2.1	1.9	1.0
無記入・不明	0.1	0.2	0.6	0.2	0.2

資料：(社)日本小児保健協会「平成12年幼児健康度調査」

〈小学生〉



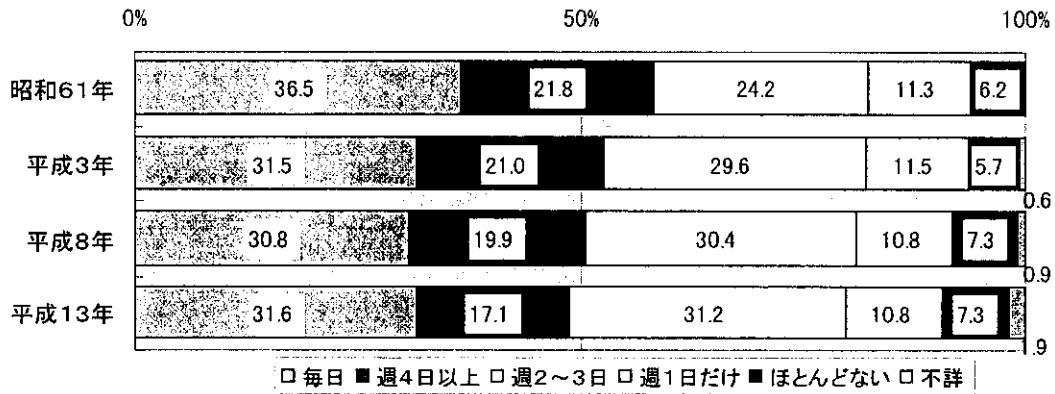
〈中学生〉



資料：日本体育・学校健康センター「平成12年児童生徒の食生活等実態調査」

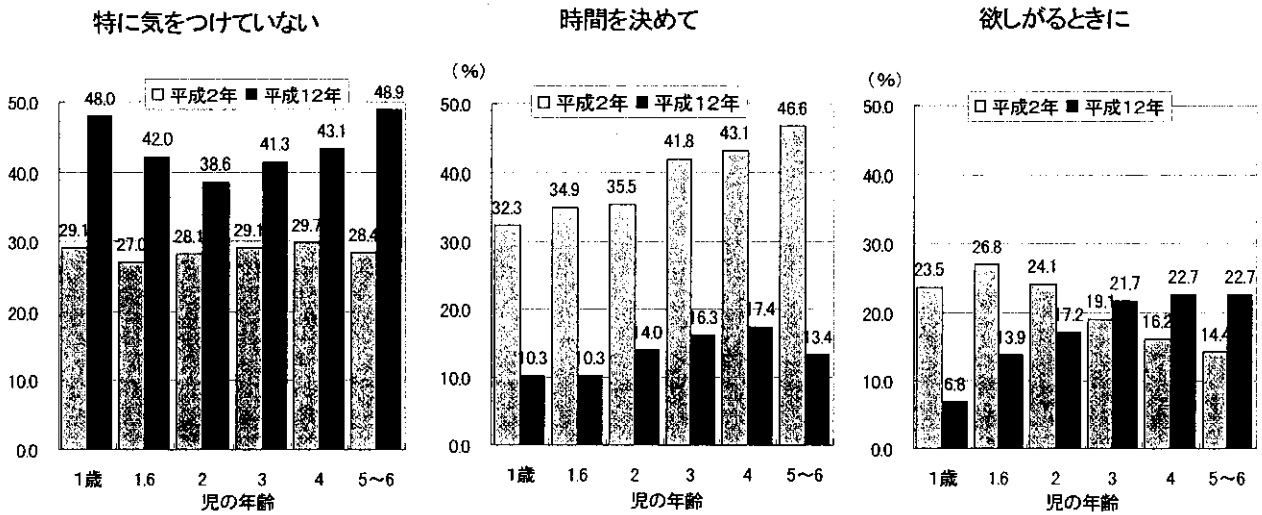
〈親、親子の関わり、家庭の変化〉

○家族揃って夕食をとる頻度



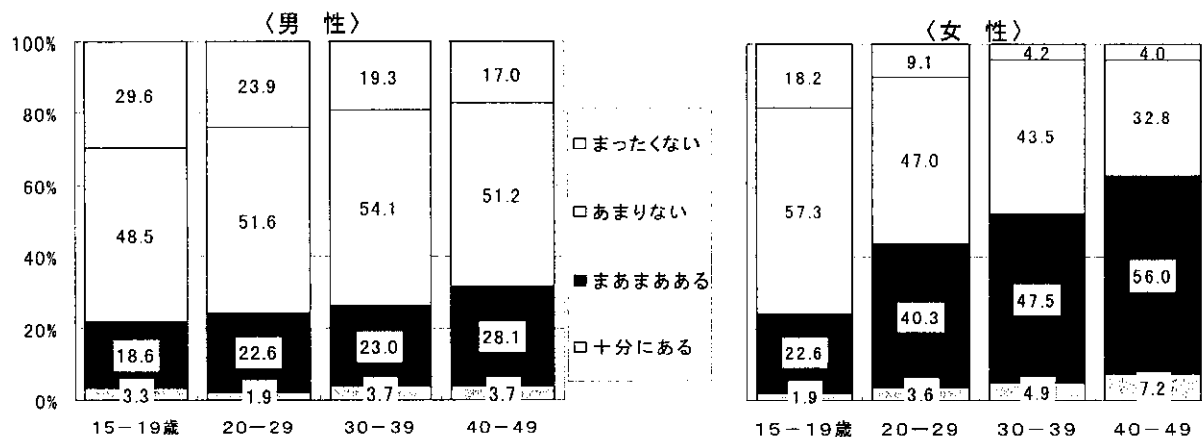
資料：厚生労働省「児童環境調査」

○おやつの与え方



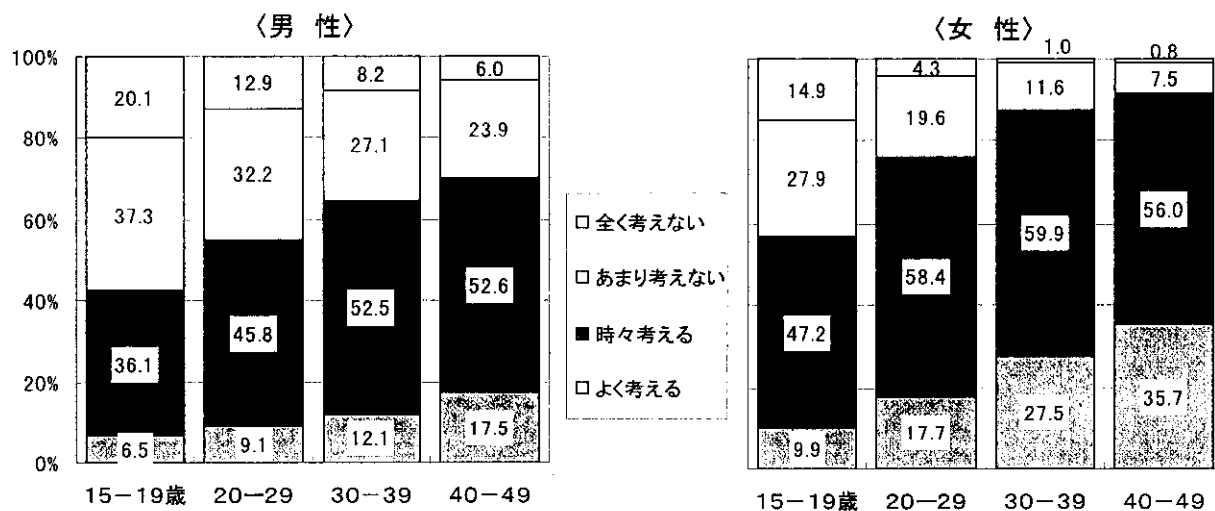
資料：(社)日本小児保健協会「平成12年幼児健康度調査」

○適切な食品選択や食事の準備のために必要な知識・技術



資料：厚生労働省「平成11年国民栄養調査」

○健康づくりのための栄養や食事についての関心

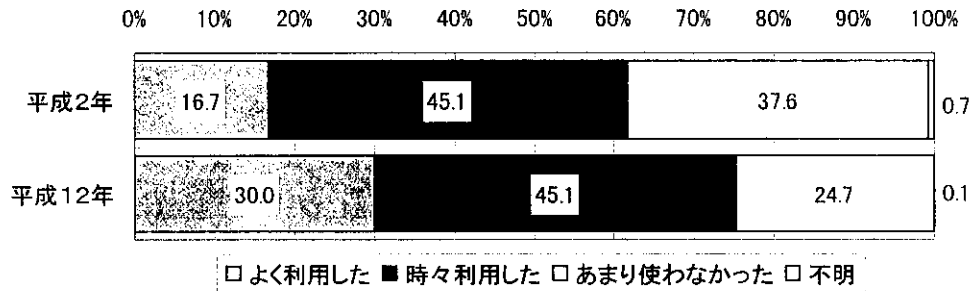


資料：厚生労働省「平成12年国民栄養調査」

〈環境等の変化〉

○市販の離乳食の利用状況

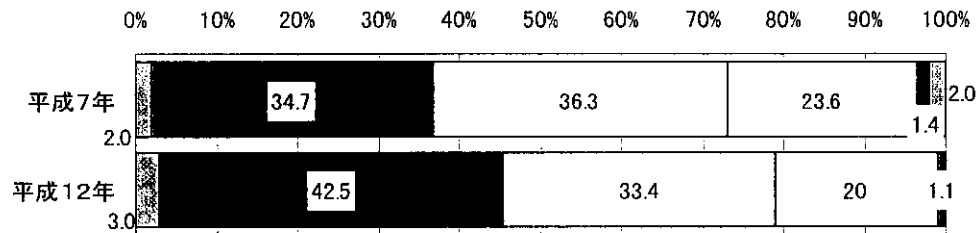
(回答：1歳児の保護者)



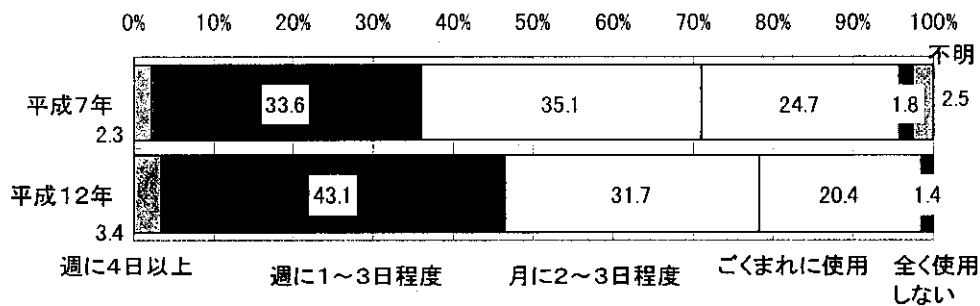
資料：(社)日本小児保健協会「幼児健康度調査」

○家庭での調理済みの食品・インスタント食品の使用状況

(回答：小学生の保護者)



(回答：中学生の保護者)



資料：日本体育・学校健康センター「平成12年児童生徒の食生活等実態調査」